

2021年5月7日

各 位

会 社 名 ニチレキ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 小幡 学
 (コード番号 5011)
 問合せ先 上席執行役員経営企画部長 伊藤 達也
 (TEL:03-3265-1513)

中期経営計画策定に関するお知らせ

当社グループは、2021年度を初年度とする5か年の新たな中期経営計画『しなやか2025』を策定し、スタートすることといたしました。

1. 策定の趣旨

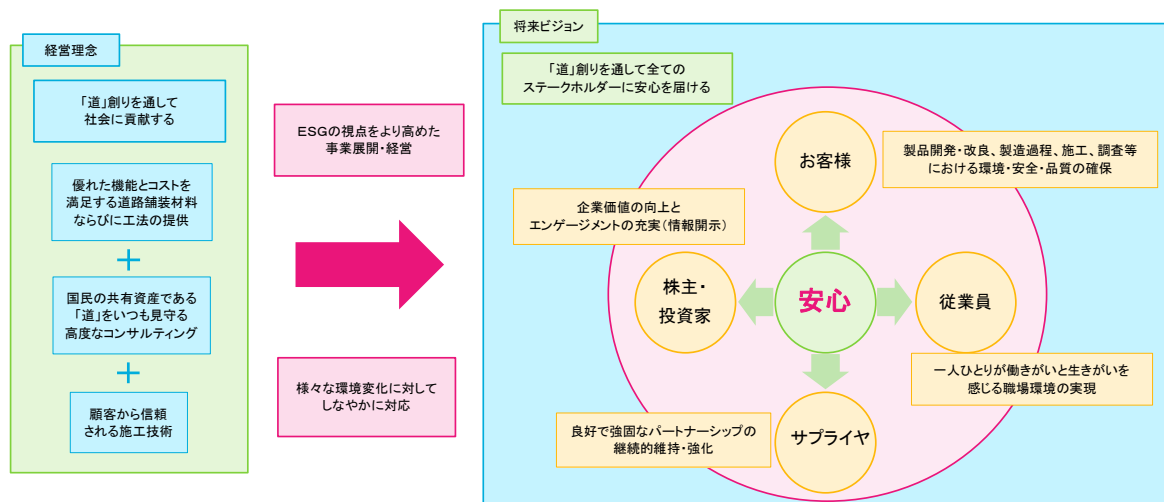
当社グループは、企業文化となっている『種を播き、水をやり、花を咲かせて実らせる』（種播き精神）を基盤とし、それに経営理念である『「道」創りを通して社会に貢献する』とを融合させた企業理念のもと、持続可能な組織へ成長していくことを目指します。それを見据え、創業100年となる2043年のありたい姿『創業100年将来ビジョン』を描き、その実現に向けて『しなやか2025』を策定しました。

2. 『創業100年将来ビジョン』の概要

当社グループの長期的な成長に向けて、創業100年（2043年）のありたい姿『創業100年将来ビジョン』を以下のとおり定めました。

経営理念のもと、ESGの視点をさらに高めた事業展開と経営を行うとともに、様々な環境変化に対してしなやかに対応することで、持続可能な組織へと成長していくことを目指します。

経営理念である『「道」創りを通して社会に貢献する』における『「道」創り』の「道」を「道路や人生」、『社会に貢献する』を「社会に安心を届ける」と捉え、「道路や人生を創造することで、お客様、従業員、サプライヤ、株主・投資家など全てのステークホルダーに安心を届ける」企業グループへと進化していきます。



3. 中期経営計画『しなやか2025』の概要

(1) 計画期間

2021年度～2025年度[5か年]

(2) 経営環境

当社グループを取り巻く経営環境として以下の点が挙げられます。

- ①公共投資、政府の施策動向（防災・減災、国土強靱化対策等）による影響
- ②自然災害、感染症等による経済への影響
- ③原材料価格の変動および供給動向
- ④自動運転社会やDXがもたらす新しい社会への対応
- ⑤脱炭素社会など環境変化への対応
- ⑥企業の社会的責任（ESG・SDGs等）の増大
- ⑦新たな働き方、労働力人口の減少、高齢化等への対応

(3) 基本方針

『しなやか2025』～組織レジリエンスの高い企業～

大規模かつ速い速度で進行していくことが想定される様々な環境変化に対して、迅速かつ確かな意思決定のもと、組織が一丸となってしなやかな対応を図り、持続可能な企業グループへと成長していきます。

(4) 重点施策

重点施策を以下に示します。

①市場の拡大と深耕、そして市場への定着

- ・『しなやか2025』においても市場の拡大と深耕を継続的に行い、顧客と市場に対して、自社開発・製造の製品・工法をしっかりと定着させていきます。
- ・長寿命、リサイクル、CO₂削減、安全などの性能・機能を有する環境に優しい自社開発・製造の製品・工法の販売を推進していきます。

②研究開発力の強化と生産性の向上

- ・様々な環境変化に対応するため、他分野における新技術およびデジタル技術を積極的に取り込み、自社技術を発展させることで、革新的な製品・工法の開発に取り組んでいきます。
- ・人やモノの有機的なつながりを強化し、グループ全体の生産性を向上させていきます。また、サプライチェーン・マネジメントの考え方を取り入れた物流ネットワークの整備構築を図っていきます。

③グループ経営基盤の強化

- ・企業の社会的責任を果たし、いかなる環境下でも企業価値の継続的な向上を実現できるよう強靱な財務・経営基盤を構築していきます。
- ・更なる成長に向けて、持続的な成長を支える人材の開発と育成を推進していきます。
- ・ICTの整備・拡充とDXを推進し、職場環境の改善と業務効率化を図っていきます。

④脱炭素社会実現への環境投資促進

- ・将来への布石として、茨城県つくばみらい市に環境に配慮した先進的な生産物流基地を建設することで、脱炭素社会への移行に向けた取り組みを加速させていきます。
- ・グループ保有車両のハイブリッド車への更新、既存建物や設備の改修によるエネルギー消費量の減少に努めていきます。

- (5) 本計画の経営数値目標
 本計画の最終年度の数値目標を以下に示します。

2025年度目標	
連結売上高	77,000百万円
連結営業利益	7,800百万円
連結経常利益	8,000百万円
ROIC (投下資本利益率)	6.5以上
ROA (総資産当期純利益率)	5.0以上

項目	2025年度目標	2043年度目標	対象ステークホルダー	SDGsマッピング
環境配慮型製品・工法の売上比率	30%以上	80%以上	顧客	
新製品・工法開発(改良含む)上市件数	10件以上	40件以上		
年間残業時間	640時間以下	360時間以下	従業員	
有給休暇年間取得日数	付与日数の5割以上	付与日数の9割以上		
共同研究開発上市件数	2件以上	10件以上	サプライヤ	
経常利益率	10%以上	10%以上	株主・投資家	
配当性向	25%程度	30%程度		
項目説明	環境配慮型製品・工法の売上比率	<ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮型製品・工法とは、既存よりも環境に配慮した製品・工法 ・売上比率は、連結売上に対する比率とする 		
	新製品・工法開発(改良含む)上市件数	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度以降に上市される新製品・工法(改良含む)の累積件数 		
	年間残業時間	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ全従業員が対象 		
	有給休暇年間取得日数	<ul style="list-style-type: none"> ・年間付与10日以上 of 従業員が対象 		
	共同研究開発上市件数	<ul style="list-style-type: none"> ・2021年度以降に共同研究開発から上市される開発品の累積件数 		

以上